

第5回 甲府市上下水道事業推進会議 会議録

- 会議の名称：第5回 甲府市上下水道事業推進会議
- 開催日時：令和元年11月29日（金）午後3時00～午後4時30分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、塩谷知則委員、落合圭子委員、野村千佳子委員、相澤康雄委員、

■ 欠席委員：石山宏委員、遠山忠委員、中島智子委員

■ 傍聴者数：0名

■ 次第

1 開 会

2 報告事項

3 議 事

(1) 第2次戦略推進計画の進捗状況（中間評価等）について

(2) お客様満足度調査の結果概要について

(3) 第3次戦略推進計画の策定に向けて

(4) その他

4 事務連絡

5 閉 会

■ 議事

(1) 「第2次戦略推進計画の進捗状況（中間評価等）について」

【会長】

次第3の議事に移らせていただきます。

(1) 第2次戦略推進計画の進捗状況（中間評価等）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

説明：事務局

水道事業：全33事業 資料1-1

○第2次戦略推進計画事業中間評価総括表の説明

・進捗評価：「順調」32事業

「遅延」1事業（事業番号2「水源保全活動推進事業」）

天候の影響で一部イベントの中止

・事業評価見込

「C＋：積極的見直し」1事業（事業番号32「水道施設を利用した再生可能エネルギー利活用事業」）

経緯：太陽光発電施設の導入が電力買取価格の下落等により、経費の回収見込みが大幅に伸び、費用対効果に優位性が認められなくなったことから計画を見直すこととした。

「C－：一部改善」1事業（事業番号2「水源保全活動推進事業」）
水源保全活動イベントの荒天による中止により、目標参加人数に達しない見込みとなった。

「F：完了」1事業（事業番号9「浄水場等業務継続システム高度化事業」）

上記以外「B：継続推進」30事業、

全体的に事業は順調に進捗している。

○KPI（重要業務指標） 資料1-2

全10項目

中間評価

- ・「遅延」：1項目（1）水源保全の推進「水源保全活動の参加者数（人）」

理由：総括表と同様で荒天によるイベント中止の影響

- ・「完了」：1項目（1）親しみやすく、わかりやすい情報提供（2）お客様の利便性の向上「水道水の安定供給についての市民実感度」

説明：5月に甲府市市民実感度調査を実施。

速報値 3.42 ポイントで前回より 0.01 ポイント上昇、

全42項目（第六次甲府市総合計画の施策等）中第1位）

- ・「順調」：残り8項目

T5（達成率110%以上）1項目「危機管理対策の強化」

（災害対策訓練実施回数目標8回に対して11回）

残り9項目 T4（達成率90%以上110%未満）

全体的に順調に進んでいる。目標値も全項目できる見込。

【会長】

水道事業について事務局からの説明を聞いて委員の皆様から質問、意見ありますか。皆様が考えているうちに私からいくつか質問させていただきます。

まず、事業番号2「水源保全活動推進事業」で、今年は、天候の関係で出来なかった事業があったということですが、そのあとのフォローアップ的なことは行っているのでしょうか。

【事務局】

お手元の参考資料水道事業進捗シートの事業番号2のページをお開きください。水源保全活動は、年間で5回のイベントを予定しているところで、上半期は、「水源林植樹の集い」、「水生植物観察会」、「野鳥観察会」の3つを予定していました。このうち「野鳥観察会」が荒天により中止となったところです。山の中ということで霧も発生し、参加者にも危険で野鳥も見えない状況から関係者等で協議する中で中止の決定をしました。また、日を改めて実施することも検討しましたが、日程調整が困難であることからこちらについては、断念したところです。しかし、業務指標にあります参加者数につきましても、上半期の3つのイベントの中で、当初503名を見込んでいたところ、実施できたイベントは2つになりましたが、「水生生物観察会」の参加者が40名と見込んでいたところ、多方面に声かけをした結果85名の参加者を募ることが出来、実績として、476名となり、目標値の達成率は95%と高い達成率となっています。

【会長】

ありがとうございました。このような感じで構いませんので委員の皆様から何かありませんか。水源林保全活動については、回数は減りましたが、たくさんの参加者がいて業務指標については、上半期の状況は高い達成率だったということですね。あと、事業番号25の「漏水防止対策事業」について、以前の説明に新しい方式にして、今年から調査するというので、第1次戦略で「拡大」の事業評価だったと思います。今年は「継続推進」になっていますが、現状どのように取り組んでどのような成果が挙がっていますか。

【事務局】

参考資料の事業番号25のページをお開きください。「漏水防止対策事業」につきましても、以前、甲府市の漏水調査について説明させていただいたところで、今年度から1次調査、2次調査という形の2段階で行うように見直

しました。1次調査というのは、水道メーターを検針する際に、検針員さんに漏水調査機器を使って簡易的な調査を全戸を対象に実施するものです。この調査を6月と7月の検針時に行いまして、戸数は記載にあるとおり11万2,857件ありますが、メーターの設置環境等の関係でこの機器で測定できない箇所もありまして、実際調査したのは、9万5,327件です。この中で、漏水の可能性があるのという結果が出たのが7,000件あり、11月からこの7,000件の2次調査を実施しています。この調査は、ちゃんとした技術を持っている人が現地に行って耳で管路の音を聴いて確認をします。まだ、全部が終わっていないので、最終的にどのくらいの効果が出るかは現段階では、まだ分かりません。昨年度は、以前の調査ですが3万户を調査員が現地で耳で確認しましたが28ヵ所しか漏水の発見が出来ませんでした。現段階で約1,000件を2次調査で回り、17件の漏水の確認をしています。ですからこのペースでいくと昨年よりも発見件数は多くなる見込みです。実際に漏水が発見されたところは、局の職員が行ってどのような形で修理するか検討して修理を進めて行く形になります。

【会長】

ありがとうございました。新しい方式にして良かったということでしたが、その漏水が起きている場所というのは、何か起きやすい特徴とか共通点みたいなものがあるのでしょうか。

【事務局】

調査方法を見直して新たに分かったということではありませんが、漏水が起きている場所は、道路上の配水管、本管から分岐された個人の給水管で、鉛製の管が使われているところに多い傾向があります。その道路部分ですとか、あと、通常だと道路から宅地に入ってすぐのところメーターが付いていますが、中には、敷地の奥まったところに設置されていることもあり、その間で漏水すると、敷地の所有者の方に直してもらうのか局で対応するのか対応が困難なものとなっているところです。

【会長】

これも、以前お話を聞いたかもしれませんが、地理的、土壌的に漏水が起りやすい場所、条件みたいなものはありますか。

【事務局】

まだ、7,000件のうち1,000件しか調査が終わっていないところで漏水が起りやすい場所の傾向みたいなものは掴んでいませんが、過去の漏水の統

計データを探ると土壌の影響ということの傾向は見られません。腐食性の強い土壌であるということで漏水がそこで多く起きているということは特に認められていません。やはり、漏水が多いのは、古く老朽化が進んでいる管で、どのくらい年数が経っているかによるところが大きいです。

【会長】

ありがとうございました。以前の会議で聞いて漏水の量がとても多くびっくりしたところですが、また、対策にも多額のお金がかかっているということで今回の調査が良い結果につながれば良いと思います。経過が分かりましたらこの会で報告をお願いします。事業番号32番の「水道施設を利用した再生可能エネルギー利活用事業」が「C+」の評価で備考欄に再検討とありますが、これは、その後何か計画がありますか。

【事務局】

参考資料の事業番号32のページをご覧ください。中段の新規施設設置数の上半期のところに取組状況の記載があります。昭和北方水源地に現在利用していないテニスコートがあり、ここに太陽光発電設備を設置する予定でしたが、余剰電力の買取価格制度の変更等ありまして、事業の継続性や買取価格の下落から再度検討してまいりました。制度を検討したときの買取価格は1kwあたり42円で、設置を決めた時が29円でした。そして今年度が15円と当初から約3分の1の価格になってしまい、費用回収のシミュレーションをしたところ約80年かかるということで、この間にも施設の撤去や更新が必要になるなど採算がとれないことから再度代替策も含めて検討しました。その代替策は、下半期の欄にあります、今後、和田小水力発電も含めて方向性を決定することを考えています。湯村山の緑ヶ丘球技場の北側に和田減圧槽という施設があり、ここで小水力発電設備の設置をしてはどうかと検討しているところです。これによる発電量は、太陽光発電の約70倍と見込んでいます。また、費用の回収見込もずっと短い期間となり、今後より詳細に検討を進めて行くこととなっております。

【会長】

今後太陽光発電から直接取り扱っている水を使った発電に向けて計画を見なおしているということでした。

【委員】

事業No.23「広域連携の推進」で甲斐市の旧敷島町、中央市の旧玉穂町と昭和町を給水区域とする広域的事業を推進しているとありますが、甲斐市で

料金改定を行って水道料金が3倍になったと聞いたのですが、実際どのような状況なのでしょう。

【事務局】

手元に資料がないので詳細についての説明はできませんが、甲斐市の料金は、もともと県内でも低い水準の設定だった経過があります。今後、甲斐市でも古い施設の更新等を行っていくにあたって財源を確保していく必要があります。料金の改定を検討している話を聞いています。50%くらいの改定率は必要だとのことでしたが、いきなりそこまで引上げるのは難しいということで2段階に分けて改定するということでした。今回は、基本料金で30%の値上げをして、あと数年後にもう1段階値上げをするということでした。その料金改定が終了した辺りで、甲府市、中央市と同程度の水準になると伺っております。

【委員】

行く行くは、甲府と肩を並べるような形になるということによろしいですか。

【事務局】

改定では、同程度の水準となると聞いております。

【委員】

料金が3倍になるということはないのですね。あと、災害により、断水することが考えられます。今の資料に甲斐市、中央市、南アルプス市と非常時応急給水の覚書を締結とありますが各市で給水車を何台くらい持っているのですか。

【事務局】

甲府市には加圧式給水の給水車が2台あります。その他にトラックに給水タンクを積むタイプのものでそのタンクが5台あります。事業体一つで複数所有するのは、経費的に困難で、事業体によっては持っていないところもありますが、概ね1台です。今回千葉で台風被害がありました。自前の給水車だけでは対応しきれず県外も含めて近隣事業体等から応援で来てもらって対応しているような状況です。また、災害時の飲料水の確保として、避難所となる各小学校の校庭には貯水槽が設置してあり、これで概ね住民の3日分の飲料水を確保できるようになっており、災害初期の段階はこれで対応します。

【委員】

広域連携ということで例えば甲斐市と何か一緒に事業を行うことはあるの

ですか。

【事務局】

水道事業は、市町村ごとに経営されていて経営規模が小さい事業体もあることから施設の更新や耐震化等を進めるにあたり、広域的に連携して事業を行うことを国も推奨しています。経営戦略を立てて計画的な事業を行う中で経営基盤の強化を図るよう指導しています。やはり今後の厳しい経営環境を考えますと、10年より先、50年先を見据え、水道施設の統合や経営統合に向けて将来的には、検討していかなければならないと考えています。ただ、広域連携の在り方にはハード面、ソフト面とあり、更に相手の状況やどのような考えをもっているか等様々に考えられることがありますので、こういった手法で何をしていくのが事業体にとって最も有効であり、効果的かということをよく調査研究してまいりたいと考えております。

【委員】

ありがとうございました。

【会長】

他に意見等がありませんので次の下水道事業について事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

下水道事業：全33事業 資料1-3

○第2次戦略推進計画事業中間評価総括表について説明

・進捗評価：「順調」28事業

「遅延」3事業事（事業番号4「下水道地震対策事業」、事業番号8「污水管きよ整備事業」、事業番号10「雨水管きよ整備事業（浸水対策）」）

遅延理由等について、事業番号4「下水道地震対策事業」は、昨年度「甲府市総合地震対策計画」を策定し、これに基づき計画的に事業を進めているところだが戦略推進計画とのずれから、工事延長の目標値に達しない見込みとなった。事業番号8「污水管きよ整備事業」は、民間の開発行為等に対応するため今年度見込んでいた管きよ整備工事が、想定より少ないことによる。事業番号10「雨水管きよ整備事業（浸水対策）」は、現在、もっぱら地域の要望に応じ雨水きよ整備を

行っており、目標値を過去の実績の平均的な延長としているが、今年度は整備延長が目標値に達しない見込となっている。

「－」3事業 2019年度に実施する事業ではないもの。(事業番号6「下水道整備計画策定業務」、事業番号7「汚水処理整備計画策定事業」、事業番号21「ストックマネジメント計画策定業務」)

・事業評価見込

「C＋：積極的見直し」2事業

(事業番号8「汚水管きよ整備事業」、事業番号27「浸入水防止対策」、

「C－：一部改善」2事業

(事業番号4「下水道地震対策事業(管路)」、

事業番号10「雨水きよ整備事業(浸水対策)」)

「－：事業なし」3事業。残り27事業は全てB評価(継続推進)

施策評価：11施策 全てB評価(効果を上げている)

○KPI(重要業務指標)について 資料1-4

全10項目

中間評価：

- ・「完了」：1項目(1)親しみやすく、わかりやすい情報提供
(2)お客様の利便性の向上「生活排水の適正処理についての市民実感度」

説明：5月に甲府市市民実感度調査を実施。

速報値3.29ポイントで前回より0.04ポイント上昇、

全42項目(第六次甲府市総合計画の施策等)中第2位

- ・「順調」：9項目

見込値評価：

T5(達成率110%以上)2項目「危機管理対策の強化」

(災害対策訓練実施回数目標4回に対して5回)

「効果的な改築」

(管きよ改善率 目標値0.26に対して0.30)

残り8項目T4(達成率90%以上110%未満)

全体的に順調な目標達成度。

【会長】

下水道事業について事務局からの説明が終わりました。委員の皆様から意

見等ありますか。では、私の方から、資料1-3の事業番号27「浸入水防止対策（管路）」の進捗評価が「順調」で事業評価見込みが「C+：積極的見直し」というのが気になりますので説明をお願いします。

【事務局】

「浸入水防止対策（管路）」につきましては、今年度は、引続き「止水工事」を行ってきました。西田地区が完了予定です。浸入水原因特定調査につきましては、前年度から岩窪地区に新たに調査に入っているところで、進捗としては「順調」だと考えていますが、目標値の中の原因特定調査の実施面積が目標の10haに対して8haと届かなかったことから「C+」としました。また、先ほど説明しました西田地区の止水工事が終了しまして、岩窪地区について原因特定調査を行う中で、これまで西田地区であったコンクリート製のヒューム管の本管から塩ビ管に変わっています。これにより、昨年度の原因特定調査の状況から西田地区で見られたような本管から支管にかけての地下水等の浸入はほとんど認められず、誤接続で雨水の排水を誤って下水道に接続して行っていることが原因と考えられます。第3次戦略推進計画の策定にあたり、目標値等について見直しを図る必要があると考えています。

【会長】

今の説明では、KPIについても「有収率の向上」のところで「T4：継続推進」になっているのは、西田地区の工事が順調に進んだのでこれについて、目標を達成したという評価の結果と考えてよろしいですか。

【事務局】

はい。

【会長】

岩窪地区は、今の説明だと屋根から伝わった雨水が下水道管に繋がって流れ込んでしまっている。これが下水の量を多くしてしまっていると考えられるということですね。こういうのは、その家庭に直してくださいとお願いするのですか。

【事務局】

はい、原因特定調査で発見された家には、給排水課と協力する中で正しい接続について指導していきます。

【会長】

こういうのは、接続工事を誤ってしまったということであって、庭が雨水

でいっぱいになってしまうからといって承知して接続しているということはないのですか。

【事務局】

100%ないとは言い切れませんが。あと1点、誤接続で問題になるのが、雨水きよの整備が追い付いていないところだと雨水を排水する施設がないので、そういう場合は、一度溜めて浸透させるという方策も考えられますが、こういった個別の状況も確認する中で、協力をお願いを行っていきます。

【会長】

分かりました。

【委員】

事業番号3「処理場等施設浸水対策事業」のところで、洪水ハザードマップの浸水の恐れがある地区に位置するとありますが、先般の台風も山梨では大きな被害はありませんでしたが、ここ数年各都市で大雨による被害が出ていることを受けて甲府市でも何か対策を立てていますか。

【事務局】

今年、甲府市のハザードマップを新しく作りまして、これの対象河川となっているのが笛吹川等いくつかありますが、それぞれで破堤箇所やそこからの浸水の高さを想定しています。その最大水位としまして浄化センターは、水処理施設のところで0.5～3mとなっています。これに対して5メートルメッシュの浸水の想定の出ています。現在、これを基にそれぞれの施設についての浸水危険箇所を特定するという作業及びその結果を整理して、どのような対策をとるかということを検討する作業を行っています。また、対策を講じるにあたり大きな費用となるので、どのように平準化して行うかということを検討する業務委託を行っています。

【委員】

そうしますと、来年また大きな台風が来て3m浸水することになっても施設は大丈夫なのですか。

【事務局】

やはり実際対策を講じるには多額の費用がかかります。

【委員】

土嚢を積んで終わりというわけにはいかないですね。

【事務局】

土嚢で防げるのは、10cm、20cmの水位でそういうわけにはいきません。

いずれにしても、補助制度を活用する中で、長期的な対応ということになります。

【委員】

おそらく浄水課も同じだと思いますが、停電になったときの対策はどのようになっていますか。

【事務局】

浄化センターでは、非常用発電機を持っています。これは、全施設の稼働に必要な電力をカバーする能力を持っています。燃料の備蓄は3日分です。もっと長く稼働する必要があるれば、その間に補給して行います。

【事務局】

浄水場につきましては、平瀬浄水場と昭和浄水場がありまして、ともに自家発電機を備えております。給水区域の98%をカバーする水量の浄水が可能な電力を確保できます。

【委員】

何日間の運転が可能ですか。

【事務局】

15時間の運転が可能です。あとは、補充して発電することになります。

【委員】

3日間分くらいないのですか。

【事務局】

平瀬の方で、浄水池に水が溜まっているのですが、それが普通に配水していると4時間でなくなります。昭和浄水場の方は、1日半くらい分の水量を溜めてあります。この状況を活用して停電時の対応を行います。

【委員】

その状況だと緊急時に不安に感じますが。

【事務局】

燃料については、すぐ補給できる体制を整えております。あと、平瀬の方は、発電機の改修を考えているところです。この時に燃料備蓄の体制についても考えていきます。

【会長】

ありがとうございました。今の議論は、このあと、議事（3）の第3次推進計画の策定のところでも関係してきますので、また、そこでも触れていきたいと思えます。

【事務局】

今、会長から「第3次戦略推進計画」について話がありましたので、この場で補足させていただきます。例えば、去年の北海道胆振東部地震では、燃料が不足して浄水場や処理場が動かなかった事例が多発したことを踏まえ、今年度、国の方で燃料の補給先やどの燃料をどのくらい備蓄しておけば良いかのマニュアル、BCPもマニュアルとして改訂をするようにとの動きが出ています。こうしたことから、来年度の「第3次戦略推進計画」を策定するにあたり、非常時の施設の稼働に係る計画を国の動向も踏まえ策定していきたいと考えています。

【会長】

ありがとうございました。他に意見等ありますか。意見等出つくしたようですので、これで議事1の推進計画の進捗の中間評価について終了します。提示された評価等について会議として了承しました。

それでは、次の議事（2）「お客様満足度調査の結果概要について」事務局から説明をお願いします。

（事務局より説明）

資料2

説明：事務局

主旨・経緯

「普段水道、下水道を使用しているお客様の上下水道事業に対する評価や要望などを聞き、今後の事業運営や日常の業務に役立て、より質の高いサービスを提供するために平成22年から3年に1度アンケート調査という形で行っているもの」

調査方法等

- (1) 調査地域：甲府市水道事業給水区域
(甲府市、昭和町、甲斐市（旧敷島町）、中央市（旧玉穂町）)
- (2) 調査対象：給水区域内の一般家庭
- (3) 調査期間：令和元年6月28日～7月19日
- (4) 調査対象者数：1,500人 回収数（率）：606人（40.4%）
- (5) 抽出方法等：無作為抽出、郵送による調査票送付・回収（無記名）
- (6) 設問等 水道水に対する満足度など15問、下水道に対する満足度

など6問、自由記載

前回の平成28年度調査との比較

- ・設問2-1 (1) 水道水に対する満足度「味」
 - ・設問2-1 (5) 水道水に対する満足度「水道料金」
 - ・設問3-3 下水道使用料に対する満足度「下水道使用料」
- いずれも満足度の向上が見られた。

分析

- ・水道水に対する満足度は高い
- ・水道料金についての満足度は、若干不満を上回っている。
- ・市販のペットボトルを飲むなど、飲料用としていないお客様が一定数いる。
- ・下水道のしくみ果たす役割についての満足度は高い。

等

主な自由記述

【水道水について：おいしい・安全・安心】

- ・甲府の水道はくせがなく美味しいので、この美味しい水道水を長く維持して頂きたい。

【水道水について：おいしくない・不安】

- ・雨や雪が降ると、水道水ににおいがするときがあります。

【施設維持・災害対策について（老朽化対策・耐震化）】

- ・効率よい改修に努めてコスト削減を図ってください。
- ・非常時（地震等の）災害への万全の対策は是非怠ることなくつづけてください。

【料金について：高い負担感】

- ・もう少し安くなればいいなと感じます。生活に直結するので安価で安全に使える水を望みます。

【民営化について】

- ・合理化、効率化の名のもとに市民の安全安心が損なわれる恐れが多分にあり、疑問を呈するような民営化もしくは外部委託に舵を切るべきではないと考える。等

【会長】

説明が終わりました。今の満足度調査の説明について何かご意見等ありま

すか。あとの方で委員の皆様からこの満足度調査のことに限らず全体の中で、来年度の計画についても併せて何かご意見を伺いたいと思いますのでよろしくをお願いします。ここでアンケートについて何か確認したいこと等ありましたらお願いします。

【委員】

自由記述のところ水道水がおいしくないという意見が出ていますが、水道水は塩素を含んでいる中で、こうした方たちにおいしく水を飲むことについて情報発信みたいな取組は何かしていますか。東京でおいしく水を飲むのに一晩冷蔵庫で冷やすという遠い昔の記事が残っているのですが。例えば、置いておけば塩素が抜けて無臭とはいかななくてもおいしく飲めるようになるのか、そういうのがありませんか。

【事務局】

以前、「おいしい水研究会」というのが厚生労働省に設置されたことがありまして、水をおいしく感じるのはどのような条件か、もちろん水質的な要素によるところが大きいのですが、法律で水道水には一定の塩素が残留させておかなければならないと定められているので、どうしても水道水そのままだと塩素臭がわずかに残ってしまいます。おいしく飲んでいただくためには、煮沸するとか、一定期間冷蔵庫に入れておくとかして塩素を抜く方法が考えられ、特に冷蔵庫は冷たいということでおいしく感じられます。

【委員】

おいしいと感じられない人に対してこうすれば水道の水もおいしく飲めるよといったメッセージの発信、啓発をしても良いのかと思います。あと、モンドセレクションについてアンケートで質問していましたが、この結果、認知度はどのくらいでしたか。水道水をボトルに詰めたものが「甲府の水」でこれがモンドセレクションの金賞を受賞したということで良いんですね。

【事務局】

ペットボトルの「甲府の水」を申請しています。平瀬浄水場でろ過した水道水から塩素を取り除いてペットボトルに詰めた形となっています。

【委員】

認知度の結果はどうだったのですか。

【事務局】

80名の方が知っているという回答をしまして、パーセントでいうと5.9%と

いう結果でした。

【委員】

甲府駅を降りたところの土産物屋の店頭に並べておけばよいのでは、という要望で終わります。

【会長】

ありがとうございました。他にないですか。回答者の男女比率や年齢構成は分かかりますか。

【事務局】

男女の比率は、男性が 48.8%、女性が 41.1%で、296：249。年齢構成は、20 代及び 20 代未満が 38 名、30 代が 42 名、40 代が 81 名、50 代が 100 名、60 代が 117 名、70 代以上が 218 名となっています。

【会長】

そうするとご高齢の方の意見が多いですね。もうちょっと若い方からの意見があると良いですね。他によろしいですか、私も甲府の水を知っているだけに「おいしくない」と言われると「なんで？」と勝手に思いますが、それぞれの環境で例えばマンションに住んでいて水道管から直接水が行っているのではなければ、管理の状況によって「おいしくない」ということになってしまうかもしれません。他に意見等がなければ、次の議事に移ります。議事（3）「第3次戦略推進計画の策定に向けて」事務局お願いします。

説明：事務局

水道事業 資料3-1

下水道事業 資料3-2

2018年度、2019年度の各事業の予算額及び2020年度計画額で増減の大きい等について説明

資料を参考に令和2年度の予算に反映して欲しい業務等についての提案依頼。

【会長】

この会議の中で、進捗状況の評価や決まったことの報告を受けるだけでなく、こうして集まっているので戦略推進事業の業務について何か提案ができれば良いかと思えます。こんなことに取り組んでもらいたいとか、これにもっと力を入れてもらいたいということをこの会議から次の「第3次戦略推進

計画」に反映させたいということで今回の議事にしました。では、皆様から一言ずつ今日の会議全体を踏まえてのことでも構いませんので意見等を伺いたいと思います。

【委員】

水道の事業番号25の「人材育成、技術・経営ノウハウの継承」の研修時間がKPIになっていますが、研修内容とか、組織の中の活性化とか創造性を高めるようなしかけといったことについてどのように取り組んでいるか、また、これからどのように取り組んでいくかについてお聞かせください。

【事務局】

こちらにつきましては、水道事業、下水道事業ともに重要な業務として捉えております。全国的に言われていることで、技術であったり、経営ノウハウであったり、職員数の減少もありますがどのように継承していくのかが大きな課題の一つになっています。基本的な職員への研修もありますが、特に、水道事業、下水道事業は、専門性が高い内容になっていますので技術研修や会計的な研修については、外部の専門的な研修をきちっと受講させるとか、ベテラン職員によるOJTにより確実に若手職員に伝えていくということに取り組んでおり、今後、強化を図っていくことが重要であるということで、このKPIは、一人当たりの研修時間を目標値に設定しています。なるべく多くの職員が多くの研修を受講するように努めるとともに、研修内容の充実を図っていきたいと考えています。

【会長】

今の回答で日本は、水道があって当たり前ですし、トイレも水洗トイレが当たり前になっていますが、こういう事業に携わっている意義や大事さを若い職員によく理解してもらうことは重要なことだと思います。誇りをもって仕事をする、重要な業務を担っているということを理解して仕事をしていただきたいと思います。甲府市の上下水道局は、以前にカンボジアで下水道の活動をしていたと思います。山梨大学でもそうだったのですが、学生たちが、そういった開発途上国で活動するとピリッとして帰ってきます。海外との連携事業もそうした技術の継承に有効なのかと思います。短期間でも良いので視察等して外国の実態を知るだけでも自分の仕事を理解して、よりしっかりやっ払いこうというモチベーションを上げるのに良いのではないのでしょうか。

【委員】

水道事業、下水道事業ともに、順調に事業が進捗しているということで引

き続き事業の推進を図っていただきたいと思います。お客様満足度調査については、甲府の水道水について、おいしいという意見もおいしくないという意見もあったようですが、私は、昔からもう何年も甲府に住んでいて甲府の水を飲んでいて特においしいとかおいしくないとかを感じませんが、全国的においしいという話は聞きます。先日の台風の際に私たちの自治会でも地区によっては避難をしたところがありました。水はとても重要なものなので災害時にも十分確保していただくようお願いしたい。水道事業、下水道事業について、現在の第2次推進計画、次の第3次推進計画と計画通り着実な事業の進捗をお願いします。

【委員】

3つお願いしたいことがあります。まず、耐震化に力を入れていただきたいと思います。幸い、山梨県で大きな災害は起きていませんが、全国では大きな災害が頻発しています。市民としては、なるべく早く耐震化を進めていただきたいと考えます。当然、予算的な問題で難しい面もあるかと思いますが是非ともお願いしたいと思います。2点目もこれに関係していますが、先ほどのお客様満足度調査で、料金に関する満足度のポイントがかなり上がったという話がありました。これについては、料金に対しての理解を深めるための努力をしてきたことによると思います。市民の生命を守るためにそれだけのお金が必要になることに市民の理解が深まっていけば料金が上がることに對してそんなに不満に思うことはないのでは、と思います。今後もしっかりPRをして、耐震化を早く進められるよう、その財源の確保に努めていただきたい。3つ目は、同じく満足度調査の結果概要の中で、モンドセレクションの金賞受賞を知っている方の割合が5.9%ということで、あまりに少なかったことに驚きました。せっかくの自慢できるおいしい水があるので、市民の方にしっかりとPRすることによって満足度も上がっていくと思いますので、何か工夫をしながらまた、PRをしていただきたいと思います。

【委員】

モンドセレクションの関係で、「戦略的PR活動の展開」の「甲府の水」配布本数2万7000本は、PRで配ったり、売上げがあったりの本数だと思いますが、その配布や売上げの内容が分かる資料がありますか。例えば、配布が何%とか、こういったイベントで何本配布したとか、局で何本売上げがあったとか。

【事務局】

昨年度の状況ですが、販売が 9,700 本ほどで、上下水道局 1 階サービスセンターの販売と甲府市役所 1 階のローソンの販売があります。あと、若干ですがふるさと納税の返礼品の分があります。PR が足りないということで、農林業まつりなど市のイベントに出展して PR をしておりますが、今後も、一層そういった PR 活動に取り組んでいきたいと考えています。

【委員】

約 1 万本が販売で、1 万 8,000 本位はイベントで無料配布をしているということですね。生産能力はどのくらいですか。確か年に何本しか製造できないというような話も聞いた気がします。想定はできないけれど 100 万本とかあまりに売れすぎると生産が追い付かないということがありますか。

【事務局】

100 万本というのは、横浜市で販売している本数が 100 万本だったと記憶しています。甲府市では、そこまでの本数にはならないです。

【委員】

電車で甲府に来る方や道の駅に立ち寄る方など県外から来る方に甲府の水はおいしいよといった PR が出来ないものでしょうか。この会議の前に婚活の話職員の方としていまして、世帯人数が増えると水の使用量が増える。そうすると収入も増えます。自分が住むところを決めるのに景色が良いというのは見れば分かりますが、水がおいしいというのは、水源が荒川だったら荒川の水源を見に行かなければ分かりません。今、AI で住むところを決めるのに空気とか水とかのデータを入れて不動産情報を流すとその条件に合った物件が出てくるというのが日経新聞で紹介されていました。水というのは、住むところを決める要素が非常に高いのではないかとということで、市民だけでなく県外への PR 活動もしていただきたい。

【事務局】

山梨暮らし支援センターという移住の相談窓口が東京にありまして、甲府市にとっておいしい水があるというのは、移住の促進に影響を与えるのではないかとということで、この「甲府の水」を移住の相談者にお渡ししていただけるような活動をしています。コンシェルジュの話ですと、「こんなおいしい水でシャワーを浴びているんですか」といった話も出たりするそうです。水道水も移住先を決める要素の一つになっていると思いますので、こうした県外の方への PR にも取り組んでまいりたいと思います。

【委員】

甲府の人口を増やすためによろしくお願いします。

【会長】

更なるPRに努めてください。というところで他にありませんか。それでは、第3次戦略策定について、技術が継承されるよう研修内容の充実、災害時に飲料水に困ることがないような防災対策、耐震化の推進、料金・甲府の水のPR活動について力を入れていっていただきたいとこの会議から提案します。

(4)の議題「その他」で何か委員からありますか。よろしいでしょうか。ないようですので以上で「次第3の議事」を閉じさせていただきます。

以上